

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【公表番号】特表 2016-525176 (P2016-525176A)

【公表日】平成 28 年 8 月 22 日 (2016.8.22)

【年通号数】公開・登録公報 2016-050

【出願番号】特願 2016-522620 (P2016-522620)

【国際特許分類】

E 0 5 B 49/00 (2006.01)

G 0 6 F 21/31 (2013.01)

【 F I 】

E 0 5 B 49/00 J

G 0 6 F 21/31

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 3 日 (2017.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

キーデバイス (60) を保護するための筐体 (5) と、

キーデバイス (60) のブレードを保持するよう構成されるソケット (3) であって、前記キーデバイス (60) と通信するためのコネクタ (12) を有する、ソケットと、
セルラー通信ネットワークを介して通信するためのセルラー無線通信モジュール (6) と、

キーデバイス (60) と前記ソケット (3) との間に電気接続を有するよう前記キーデバイス (60) が前記ソケット (3) に供給される際に、前記セルラー無線通信モジュール (6) を用いて、セルラー通信ネットワーク (32) を介して、アクセス管理データをアクセス制御装置 (30) と通信するために構成されるコントローラ (2) であって、前記アクセス制御装置は、複数のロック装置 (20) へのアクセスを管理する、コントローラと、

コードインプット装置 (10) と、を備え、前記コントローラ (2) は、キーデバイス (60) が前記ソケット (3) に挿入される際、前記キーデバイス (60) を非アクティブ化し、正しいコードが前記コードインプット装置 (10) を用いて入力された際にのみ前記キーデバイス (60) を再アクティブ化するよう構成される、携帯アクセス制御通信装置 (1)。

【請求項 2】

前記コントローラは、キーデバイス (60) が前記ソケット (3) に供給される際に、前記アクセス制御装置 (30) との以下のアクセス管理データの通信、すなわち、一つまたは複数のロック装置 (20) 用に更新されたアクセス権を受け取ることと、特に前記キーデバイス (60) 用に更新されたアクセス権を受け取ることと、前記キーデバイス (60) 用に更新された有効期間を受け取ることと、前記キーデバイス (60) のクロック用に更新された期間を受け取ることと、一つまたは複数のロック装置 (20) 用の監査証跡を送ることと、前記キーデバイス (1) 用の監査証跡を送ること、のうち、任意の一つまたは複数を行うように構成される、請求項 1 に記載のアクセス制御通信装置 (1)。

【請求項 3】

前記コントローラ(2)は、トリガー条件が真と判定された場合のみに、前記アクセス制御装置(30)とのアクセス管理データの通信を行うように構成される、請求項1または2に記載のアクセス制御通信装置(1)。

【請求項4】

前記トリガー条件は、前記アクセス制御通信装置(1)のタイマーが終了するときに真である、請求項3に記載のアクセス制御通信装置(1)。

【請求項5】

前記アクセス制御通信装置(1)は、ユーザインプット装置(7)をさらに備え、前記トリガー条件は、前記ユーザインプット装置が作動するときに真である、請求項3または4に記載のアクセス制御通信装置(1)。

【請求項6】

前記コントローラ(2)は、前記キーデバイスが非アクティブ化された後、非アクティブ化情報メッセージを前記アクセス制御装置(30)に送るようさらに構成される、請求項1から5のいずれか一項に記載のアクセス制御通信装置(1)。

【請求項7】

コードインプット装置(10)をさらに備え、前記コントローラ(2)は、前記コードインプット装置(10)を用いて正しいコードが入力された際、前記ソケット(3)に供給されたキーデバイス(60)の有効期間を延長するよう構成される、請求項1から6のいずれか一項に記載のアクセス制御通信装置(1)。

【請求項8】

前記電気接続はガルバニック接続である、請求項1から7のいずれか一項に記載のアクセス制御通信装置(1)。

【請求項9】

携帯アクセス制御通信装置(1)で実行され、前記アクセス制御通信装置は、キーデバイス(60)を保護するための筐体(5)を有する、方法であって、

前記キーデバイス(60)とソケット(3)のコネクタとの間に電気接続を有するよう、前記キーデバイス(60)が前記アクセス制御通信装置(1)の前記ソケット(3)に供給されていることを判定(50)する工程であって、前記ソケットは、前記キーデバイスのブレードを保持するよう構成されている、工程と、

前記アクセス制御通信装置のセルラー無線通信モジュール(6)を用いて、セルラー通信ネットワーク(32)を介して、アクセス管理データをアクセス制御装置(30)と通信する(52)工程であって、前記アクセス制御装置は、複数のロック装置(20)のためのアクセスを管理する、工程と、

前記キーデバイス(60)と前記ソケット(3)との間に電気接続を有するよう、前記キーデバイス(60)が前記ソケット(3)に供給される際に、前記キーデバイス(60)を非アクティブ化する(56)工程と、

コードインプット装置(10)を用いて、ユーザにより入力されたコードを受け取る(58)工程と、

前記コードが正しいと判定されると、前記キーデバイス(60)をアクティブ化する(59)工程と、を備える方法。

【請求項10】

前記通信する工程(52)は、前記アクセス制御装置(30)との以下のアクセス管理データの通信タスク、すなわち、一つまたは複数のロック装置(20)用に更新されたアクセス権を受け取ることと、特に前記キーデバイス(60)用に更新されたアクセス権を受け取ることと、前記キーデバイス(60)用に更新された有効期間を受け取ることと、前記キーデバイス(60)のクロック用に更新された期間を受け取ることと、一つまたは複数のロック装置(20)用の監査証跡を送ることとであって、前記監査証跡は前記キーデバイス(60)から受け取られることと、前記キーデバイス(60)用の監査証跡を送ること、のうち、任意の一つまたは複数を行うことを備える、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

トリガー条件が真であるかどうかを判定する(48)工程をさらに備え、
前記アクセス制御装置と通信する(52)工程は、前記トリガー条件が真と判定された場合にのみ起こる、請求項9または10に記載の方法。

【請求項12】

前記トリガー条件は、前記アクセス制御通信装置(1)のタイマーが終了するときに真である、請求項11に記載の方法。

【請求項13】

前記トリガー条件は、前記アクセス制御通信装置のユーザインプット装置が作動するときに真である、請求項11または12に記載の方法。

【請求項14】

前記アクセス制御装置(30)と通信する工程(52)は、非アクティブ化する(56)工程の後に、前記アクセス制御装置(30)に非アクティブ化情報メッセージを送ることを備える、請求項9から13のいずれか一項に記載の方法。

【請求項15】

コードインプット装置(10)を用いて、ユーザにより入力されたコードを受け取る(58)工程と、

前記ソケット(3)に供給されるキーデバイス(60)の有効期間を延長する(54)工程と、をさらに備える、請求項9から14のいずれか一項に記載の方法。

【請求項16】

前記キーデバイス(60)がソケット(3)に供給されていることを判定する(50)工程は、前記キーデバイス(60)と前記ソケット(3)の前記コネクタとの間にガルバニック接続を有することを判定することを備える、請求項9から15のいずれか一項に記載の方法。

【請求項17】

キーデバイス(60)を保護するための筐体(5)を有する携帯アクセス制御通信装置(1)で実行されると、前記アクセス制御通信装置(1)に、

キーデバイス(60)とソケット(3)のコネクタとの間に電気接続を有するよう、前記キーデバイス(60)が前記アクセス制御通信装置(1)の前記ソケット(3)に供給されていることを判定することにおいて、前記ソケットは前記キーデバイスのブレードを保持するよう構成されていることと、

前記アクセス制御通信装置のセルラー無線通信モジュール(6)を用いて、セルラー通信ネットワーク(32)を介して、アクセス制御装置(30)と通信することと、をさせる、コンピュータプログラムコードを備えるコンピュータプログラム(66)。

【請求項18】

請求項17に記載のコンピュータプログラムと、前記コンピュータプログラムが格納されるコンピュータ読み出し可能手段と、を備えるコンピュータプログラム製品(78)。